



タブレット端末を使用したオンライン学習について

先日、高知市教育委員会より「学校の臨時休業時におけるオンライン学習等の実施について」のお便りが配付されたことと思います。その内容の概略として、

- ① 臨時休業の措置期間や状況に応じ、オンライン学習を実施する。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず学校に登校できない児童生徒への学習支援として、希望者に授業の様子をライブ配信する。

（授業ライブ配信は非常時のやむを得ない場合の特例の対応）と明記されていました。

本校においても、オンライン学習を活用し、子どもたちが慣れ親しんで操作できるよう学習を進めているところです。しかしながら、実際にタブレット端末（以下端末）をご家庭に持ち帰って使用する際に、いくつか懸念されるところがあります。

○各ご家庭において、端末が正常に接続できるのか。（2学期中には、各学年で端末を持ち帰り、児童が接続できるかどうかの確認をおこなっていきたくと考えています。）

○学校では、児童が端末を使用する際、教職員が近くで支援していますが、様々なトラブルが生じたときに、児童だけで対応できるのか。

○端末とACアダプターの総重量は、1.5kgぐらいあります。どのように持ち帰らせるのか。等、様々な課題をクリアする必要があります。今後、校内で協議を進め、体制を整備していきますのでご理解・ご協力お願い申し上げます。

【希望会の活動】

本校の特色を活かした国際理解教育の学習として「希望会」という課外活動を行っています。

「希望会」は、本校にとって一番近い外国である中国に親しみや関心を持ち、少しでも理解を深めることを目指して活動を行っています。

今回は、「お月見を楽しもう」で、簡単な中国語を学習しながら、紙粘土でお団子を作りました。



吾唯足るを知る^⑬

【優しい6年生】

掃除の時間のことです。下級生が「校長先生、ここを見てください。」と、竹ほうきの柄の部分を見てみると、細い針金が出ていました。「針金が出ているね。危ないね」と話していたら、それを聞いていた6年生の女の子が、「私のほうきと交換してあげる」と下級生のほうきと交換していました。このようなことをすかさず行動に移せることがとても素晴らしいですね！本人は当たり前行動をしたのかもしれませんが、見ている私にとっては心を動かされる場面でした。

